

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【公開番号】特開2005-233149(P2005-233149A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2004-46250(P2004-46250)

【国際特許分類】

F 0 2 C	1/05	(2006.01)
F 0 2 C	3/10	(2006.01)
F 0 2 C	9/18	(2006.01)
G 2 1 D	3/00	(2006.01)
G 2 1 D	5/06	(2006.01)

【F I】

F 0 2 C	1/05	
F 0 2 C	3/10	5 0 1
F 0 2 C	9/18	
G 2 1 D	3/00	D
G 2 1 D	5/06	G D T

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月10日(2006.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、高温ガス炉によって発生した熱を利用するガスタービンプラントに関するもので、特に、高温ガス炉の熱により加熱されたガスにより駆動するとともに排ガスを高温ガス炉に供給するガスタービンを備えたガスタービンプラントに関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 9】

そして、時間 t_b 経過後に HPT2 の回転数が定格回転数 R_b に到達したことが確認されると、図4(c)のように、バイパス弁15を全閉として、HPT2からのヘリウムガスを全て LPT3 に供給する。よって、LPT3 に流れるヘリウムガスの流量が多くなるので、図4(b)のように、LPT3 の回転数が定格回転数 R_b まで上昇する。このようにして、HPT2、LPT3、及びPT4 の回転数を定格回転数 R_b まで上昇させると、更にプラントの負荷を上昇させて、無負荷運転から定格負荷運転に移行する。尚、このようにプラントの負荷を上昇させているとき、高温ガス炉1における出口温度が所定の温度となるように制御される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

- 1 高温ガス炉
- 2 HPT
- 3 LPT
- 4 PT
- 5 発電機
- 6 热交換器
- 7 前置冷却器
- 8 LPC
- 9 中間冷却器
- 10 HPC
- 11 バイパス路
- 11a オリフィス
- 11b, 15 バイパス弁
- 12 回転数計
- 13 回転数計
- 14 バイパス制御部